

展覧会への入口講座 Vol.25 東京ステーションギャラリー x 日比谷図書文化館

横山華山の画業について —その生涯と作品



横山華山《祇園祭礼図巻》上巻部分(個人蔵)

いま東京ステーションギャラリーで開催中(9/22~11/11)の「横山華山」展が美術愛好家の間で大きな話題を呼んでいます。横山華山(1781/4~1837)は江戸時代後期の京都で活躍した人気絵師です。曾我蕭白に傾倒し、岸駒(がんく)に入門した後、呉春に私淑して幅広い流派の画法を身につけ、画題によって画風を変化させて書き分ける自由な筆遣いで人気を博し、その名声は日本中に広がりました。明治以降、フェノロサら研究者やコレクターによって早くに海外に持ち出され、その優品の多くはボストン美術館や大英博物館など欧米の美術館に収蔵されましたが、なぜか今では知る人ぞ知る絵師となってしまいました。

今回の講演会では「横山華山」展の監修をつとめた八反裕太郎氏を講師に迎え、実は日本美術史を語る上で欠かすことのない横山華山の生涯と多彩な画業を解説、紹介していただきます。上下巻あわせて約30メートルにわたる《祇園祭礼図巻》や《唐子図屏風》をはじめ数々の優品の魅力を知るまたとない機会となるでしょう。

講師 はったん ゆうたろう 八反 裕太郎(穎川美術館学芸員)

昭和47年(1972)宮崎県生まれ。日本の近世絵画史、その中でも特に風俗画や祭礼図を中心に研究を続けている。東京ステーションギャラリーで開催の「横山華山」展の監修を担当。著作に『描かれた祇園祭—山鉦巡行・ねりもの研究』(思文閣出版 2018年)、『祇園祭・花街ねりもの歴史』(共著、臨川書店 2013年)。

開催概要

- 日時：2018年10月16日(火) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)いずれかにて、
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341